

氏名	鈴木 禎宏 SUZUKI Sadahiro
所属 職名	人間文化創成科学研究科文化科学系 准教授
学位	博士号(学術)(2002年 東京大学)
専門分野	比較日本文化論/比較文学比較文化、生活造形論
URL	http://www.aesthe.ocha.ac.jp/~hp/suzuki/
E-mail	suzuki.sadahiro@ocha.ac.jp

研究者キーワード / Keywords

生活造形論
比較文化論
民芸運動と対抗産業革命
20世紀イギリスのスタジオ・クラフト運動

Theory of Arts and Crafts
Comparative Literature and Culture
Mingein Movement as counter-Industrial Revol
British Studio Crafts Movement

主要業績

鈴木禎宏「展覧会評 『「白樺」誕生100年 白樺派の愛した美術』展」、『ジャポニスム研究』30号(2010年)102-106頁。

研究内容 / Research Pursuits

専門分野：比較日本文化論/比較文学比較文化、生活造形論 主な研究課題：1 二〇世紀イギリスの工芸（Studio Potteryを中心に）
2 近現代日本の工芸（民芸運動ほか）3 その他日本とヨーロッパを軸とする比較文化論（例えば、昭和初期の日本における「世界」観など）

My research subjects so far are as follows: (1) Aspects of "Art for Life's Sake" in Modern and Contemporary Japanese Cultural Scenes; (2) The History of the British Studio Craft Movement (mainly in the field of ceramics); and (3) A Mental Map of the Mode

■ 教育内容 / Educational Pursuits

主な担当授業科目（学 部）比較生活文化論、比較文化論演習、比較生活文化史I、生活造形論ほか（大学院）比較文化論、比較生活文化特論、生活造形特論、生活芸術論 学部4年間を通じ、「自分で問題をみつけ、その問題に自分で答えをみつけることのできる人材」の育成を目指しております。この目的のためには、(1)基礎技能を高めていくことと、(2)専門性を高めていくことという、二つの事柄が重要です。すなわち、(1)語学などの基礎学力、問題設定能力、情報収集能力、分析・思考能力、発表能力などを高めていくことと、(2)比較文化論という方法論を身につけ、異文化理解能力と異文化への発信能力を高めることです。こうした観点から各学年の授業を組み立て、学部4年間で一通りの能力が身に付くように努力しております。

■ 研究計画

生活造形論の理論化。いわゆる「情報技術革命」が文化のあり方に及ぼす影響の分析。平成20-22年度 科学研究費補助金 基盤研究C「バーナード・リーチと民藝運動に関する比較文化的研究」(20520320)。

■ メッセージ

日本語の「ハンカチ」と英語の"handkerchief"は似て非なるものですが、その違いをみなさんは御存知でしょうか。「ハンカチ」とは「小型・方形の手ふき布」(『広辞苑』)であるのに対し、"handkerchief"は"a small piece of material or paper that you use for blowing your nose, etc." (鼻をかむさいなどに用いる、一切れのものまたは紙) (Oxford 英英辞典)です。「ハンカチ」も"handkerchief"も一切れの布であることには変わりはありませんが、それらが現実の生活において果たす役割は、文化によって異なることとなります。このような生活造形などを手がかりとして、文化の接触と変容の問題等に取り組んでおります。こうした問題を考える際には、(1)「異文化」を「自文化」に対して説明すること、および(2)「自文化」を「異文化」に対して説明すること、の2点を常に意識することとなります。文化と文化の接触の現場に興味があり、外国語の習得に意欲のある方を、歓迎いたします。